

授業科目 材料学

【担当教員名】 高橋 素彦		対象学年	1	対象学科	義肢
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎		○	○		
【概要・一般目標：GI0】 石膏、皮革、木材、金属、プラスチック、といった基本材料に関して、原材料からの加工方法と種類、特性、使用方法と利用方法について理解する。さらにポリウレタン発泡材、カーボンFRP、アクリル樹脂に関しては、演習を通して、適切な取り扱いを習得する。自由研究をおこない、材料に材料に関する興味と理解を深める。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 材料に関して、原材料からの加工方法と種類を説明することができる。 2. 材料に関して、特性を説明することができる。 3. 材料に関して、使用方法と利用方法、使用時の注意点を説明することができる。 4. ポリウレタン発泡材、カーボンFRP、アクリル樹脂を適切に取り扱うことができる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	材料学概論			1	
2	石膏			1～3	
3	木材			1～3	
4	皮革			1～3	
5	金属その1			1	
6	金属その2			1～3	
7	金属その3			1～3	
8	プラスチック1			4	
9	プラスチック2			4	
10	プラスチック3			4	
11	演習 ポリウレタン発泡剤、カーボンFRP、アクリル樹脂			4	
12	演習 ポリウレタン発泡剤、カーボンFRP、アクリル樹脂			4	
13	演習 ポリウレタン発泡剤、カーボンFRP、アクリル樹脂			1～4	
14	グループ研究発表会			1～4	
15	グループ研究発表会			1～4	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		必要に応じ、資料を配布する			
【評価方法】 小テスト（全体評価の約10%）研究発表（全体評価の約5%）最終テスト（全体評価の約85%）を総計して評価する			【履修上の留意点】 欠席が時間数の1/3を超えた場合、単位認定資格を失う。遅刻2回で1回の欠席とする。 1回の欠席につき-5点、1回の遅刻で-3点、最終評価から減点する。		